

サーキュレーションヒーター

気体や液体等の流動性のあるものを
効率よく加熱するヒーター



循環または吹き流しの環境において、鉄やステンレス等の一般規格の材料で、パイプやフランジをつなぎ合わせて必要な形状を形成し、気体や液体など流動性のある被加熱物が送液される管の中でフランジヒーター等と組合わせて加熱することができます。

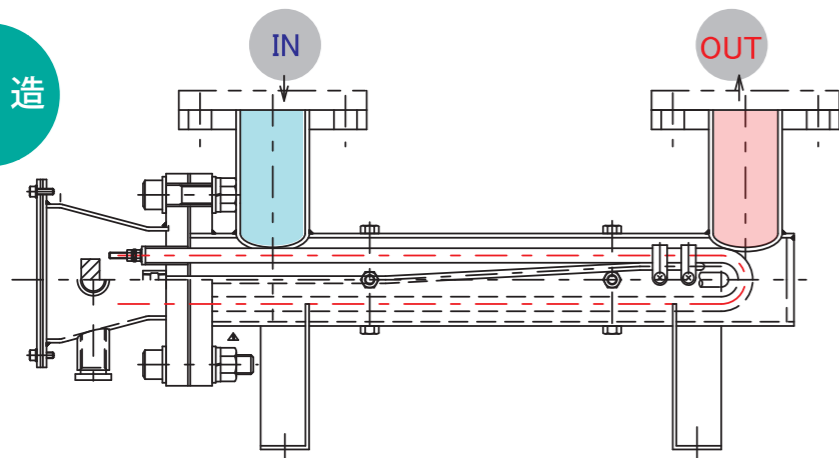
用途

- 水加熱・空気加熱・油加熱用

特長

- 液体や気体の加熱をする場合、配管の途中にサーキュレーションヒーターを設置して効率よく安全に加熱する為のヒーターです。
- 被加熱物としては液体の場合、水・各種油（熱媒油 / 機械油 / 重油など）その他薬液気体の場合は空気・蒸気、及び廃ガスなどのガス類が加熱の対象となります。
- 使用する用途によっては、压力容器規格に該当するものも製作可能
 - ①ボイラー構造規格 ②第一種压力容器構造規格 ③第二種压力容器構造規格等も製作できます。

構造



設計条件

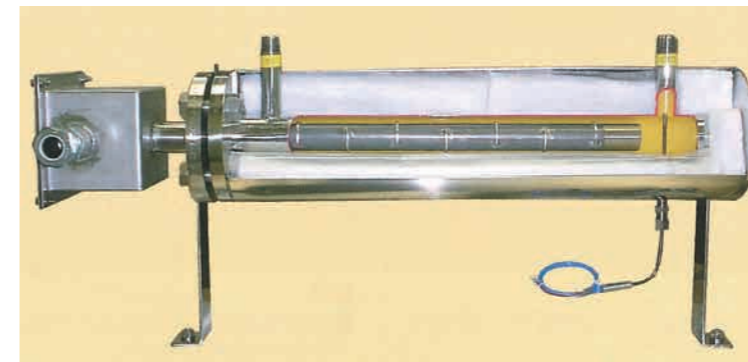
ご仕様に応じて設計いたします。設計に必要な項目は下記内容となります。

- ①被加熱物 : 気体・液体
- ②シース長 : 最大長 6000L
- ③使用圧力 : 大気圧での設計
- ④シース材質 : SUS321, 316L, 316, 304, 310S, AH-1, インコロイ 800, インコネル 600, Cu, STPT, チタン

※気体・液体の種類により材質は検討します。

N2 ガス加熱ヒーター

MSH シリーズ



MSH/BF 型
(防滴型端子ボックスフランジ型)

MSH/LR 型
(リード線ネジ込み型)

N2 ガス温度制御とは別に、ヒーターシース部に熱電対を内蔵しております。この熱電対により、発熱部の温度を検出し、過昇温防止に利用します。発熱部の過昇温の検出時、ヒーター通電を止めることにより装置の安全性の向上・ヒーターの寿命の延長が図れます。

ヒーター電力

ヒーターの必要電力は N2 ガスの昇温温度・流量条件などにより変わります。
設計条件をご記入・ご連絡いただければ、お客様のご仕様条件での電力で設計・製作いたします。

シースヒーターシリーズ 応用例

